



イケケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 549 回 幼稚な議員は、自らの意志で辞職しなさい！

2013.11.3

ついに、ここまで非常識な奴が国会議員のバッジをつける時代となった。

「請願法」という法律で、「天皇への請願は総理大臣を通すこと」とされていることすら知らない参議院議員、秋の園遊会で天皇陛下に直接手紙を渡した山本太郎の行動に、与野党から批判が相次いでいる。インターネット上でも問題視する声が多く、37万7000近い票が集まっているYahoo!ニュースの意識調査では、「支持する」が11.2%に対し、「支持しない」は83.1%と大きな差がでている(1日17時時点)。

この山本の言動に対し、田中龍作なるジャーナリストは、自身のサイトに「没後百年を経て蘇る田中正造の精神」と題した記事を公開した。足尾鉬毒事件の解決に奔走し、明治天皇に直訴状を出した田中正造になぞらえ、山本議員の行動を評価している。

明治の田中正造は主権者たる明治天皇に直訴したが、反体制活動家であっても、社会秩序を乱すことを恥とする彼は、議員辞職をしてから直訴に及び、事件を機に妻に離縁状を送り、遺書まで残している。結果的に直訴は失敗したが、強い倫理観が感じられ、命を投げ打つという覚悟と気迫があった。雲泥の差とはこのことを言い、とても同じ土俵で語られるものではないと思っている。それこそ田中正造に失礼である。

山本太郎は主権者である国民(東京選挙区)の代表である。現代の日本では天皇は政治的中立の立場にあり、主権者の座にない。日本人なら誰でもわかる常識を山本は知らなかった。園遊会という全く目的の違う場面で、関係のない皇室を巻き込み、特に天皇陛下に対し、人間として礼儀上で失礼であろうこと、分からない、分かってもしない未熟者である。

この行為には「目立ちたい」という矮小で身勝手な願望だけしか感じない。皇室の政治利用、社会儀礼上の無礼さなど、幼稚すぎる行動で、不愉快極まりない話である。テロ行為を重ねる極左暴力集団の中核派との関係を公言する山本が皇室に間近に近づいたこと事態、テロ行為の可能性も危惧すべき警備上の大問題でもある。

自分の飯を自分で稼いでいる人が、どんな思想を持とうが、いかなる活動をしようが、法に触れない限り自由である。でも、国会議員の歳費、活動費は我々の貴重な税金である。

こんな国辱的行動をする国会議員には、我々の血税を使ってもらう訳にはいかない。

法を犯したか否か、問答無用！ 自らの意志で、即刻議員辞職して頂きたい。

皇室ジャーナリストの神田秀一氏は「勉強不足もはなはだしい。経験もない、理解もないと。一般の人ならいざ知らず、国会議員がその程度のものかというまさに恥ずかしい行為」「異例なんてものじゃない。やってはならないこと」と切り捨てた。御意！！その通りである。

参考「J-CAST ニュース」:<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20131101-00000004-jct-soci&p=1>

参考「アゴラ」:<http://blogs.com/article/72750/>